

○ 各部材名称

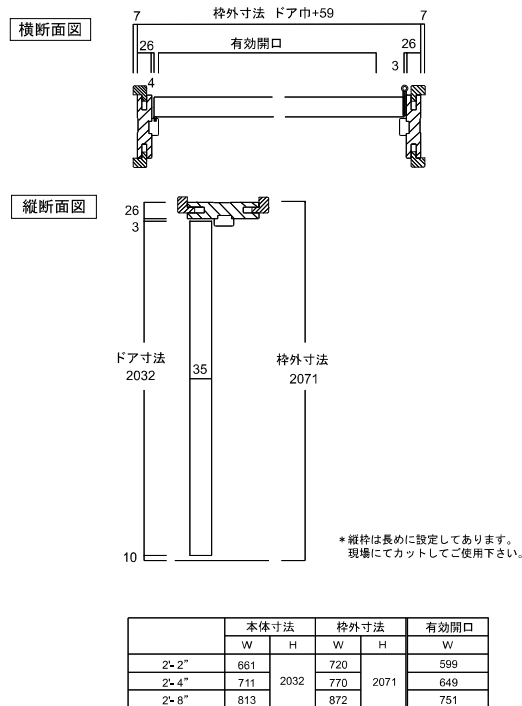
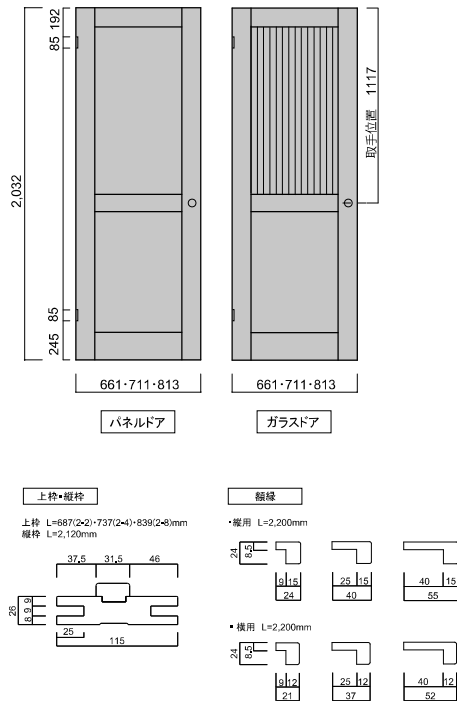


セット名	梱包内容	数量	メモ
枠セット	縦枠	2本	ヒンジ・調整ストライク用欠込有 下部現場加工
	上枠	1本	
	縦枠用戸当	2本	戸当用パッキン付 現場加工
	上枠用戸当	1本	
	ビスセット		
額縁セット			縦用4本、横用1本 L=2,200mm
金物セット	レバーハンドル	1ヶ	
	3次元調整ヒンジ	2ヶ	
	錠ケース	1ヶ	
	調整ストライク	1ヶ	

～ 然ツガ ～ 開戸施工説明書

施工前に必ずこの施工説明書をお読み下さい。

○ 姿図・納まり図



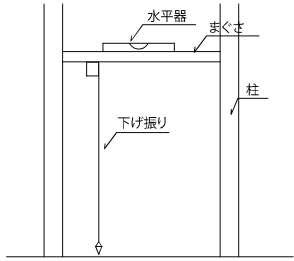
然ツガ開戸施工説明書

この度は、然シリーズツガを採用いただきまして誠にありがとうございます。
 ドアは、水平・垂直・ねじれ等により、完成時に支障をきたす恐れがございますので
 施工前には必ずこの施工説明書をよくお読みいただき、ご理解の上、施工して下さい。

○施工手順

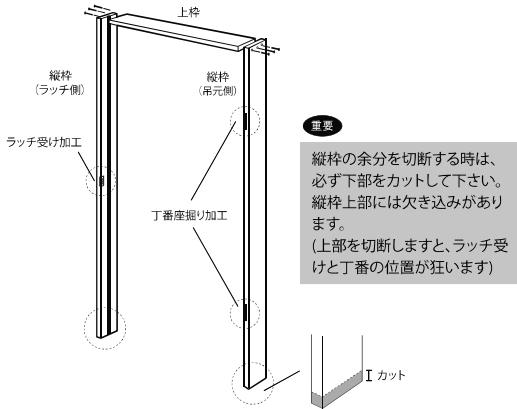
①開口部の調整

下げ振り・水平器で柱・まぐさの水平、垂直、ねじれなどがないか確認の上調整して下さい。



②枠の組立

- ・上枠と縦枠を同梱のビスで固定して下さい。
 (両側3本ずつ、計6本)
- ・下穴処理をせずに組み立てた場合、枠が割れる可能性があります。
- ・丁番の座掘り加工がしてある縦枠を吊元側へ、ラッチ受けの加工がしてある縦枠をラッチ側へ使用して下さい。

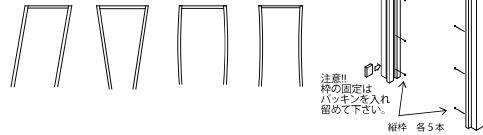


③枠の取付

柱・まぐさとドア枠との隙間にパッキン材をかませ、垂直を確認します。そして、水平・ねじれの無いよう、枠内寸法が狂わないようにして調整用ビスで固定して下さい。
 (ドアが枠に当たらないか、隙間が均一か、ドアを吊り込んで確認して下さい)

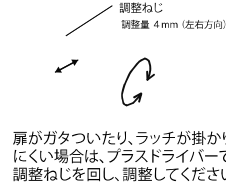
☆ご注意
 ・戸当溝部に躯体接続用の下穴を空け、調整用ビスにて取り付けて下さい。

* 建具が下図のようにならないようにご注意ください。



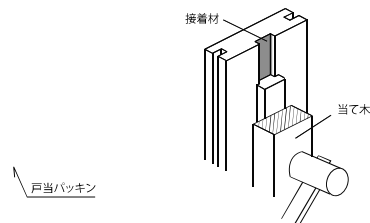
④金具の取付

ストライクプレートの位置を確認の上、同梱の専用ビスにて取付けて下さい。



⑤戸当りの取付

ドア枠の内部寸法に合わせて、戸当りの長さをカットして下さい。ラッチ側にパッキンの付いた戸当りをご利用下さい。

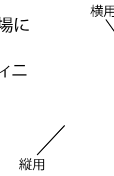


☆ご注意
 ・金錠を使用される場合は、必ず当て木をし、行って下さい。
 ・接着剤が乾くまで固定して下さい。

⑥額縁の取付

- ・額縁は納め【縦勝ち加工】により現場にて長さを調整しカットして下さい。
- ・カットしたものを接着剤もしくはフィニッシュネイルで固定して下さい。

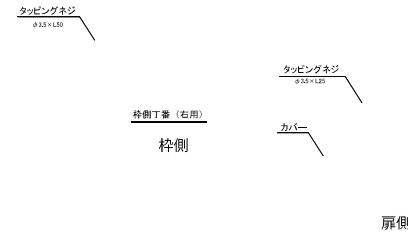
* 額縁には縦用と横用があります。



⑦丁番の取付・ドア吊込

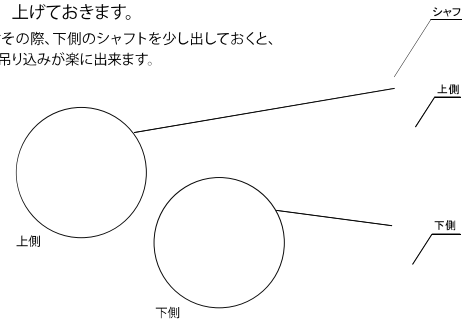
【丁番の取り付け】
 右吊用、左吊用がありますので、取付け前にご確認ください。

- 枠側
 φ3.5×長さ50mmのタッピングネジにて枠側の丁番を止めます。
- 扉側
 φ3.5×長さ25mmのタッピングネジにて扉側の丁番を止めます。



【ドア吊り込み】

- ・ドアを吊り込む前にシャフトを引き上げておきます。
- * その際、下側のシャフトを少し出しておくと、吊り込みが楽に出来ます。

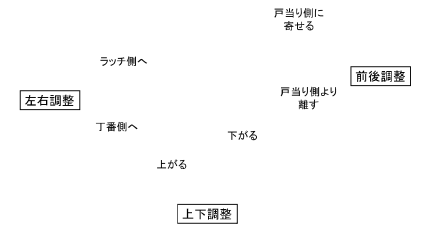


・次に、まず下側を差し込み上側を乗せたあと上側のシャフトから落とし込みます。

《丁番の調整方法》

- ・カバーを外し、調整ねじをプラスドライバーで回します。前後・左右・上下に調整可能です。

調整量
 前後方向: ±2mm
 左右方向: 枠側へ1mm
 ラッチ側へ3mm
 上下方向: ±3mm



⑧レバーハンドル取付(空錠・表示錠)

レバーハンドル錠に同梱されている取付説明書に従って施工を行なって下さい。

⑨施工終了後

- ・保護
 当て、擦り傷等が付かないよう保護材などで必ずカバー、もしくは、取り外し傷付かない場所に保管をお願いします。
- ・お手入れ方法
 ドアが汚れている場合、雑巾に水を含ませ固く絞り、拭き取って下さい。
 ・酸性、アルカリ性の洗剤や溶剤(シンナーなど)は変色等の原因となりますので絶対にお止め下さい。
- ・建具の金具はやわらかい布で乾拭きを行って下さい。
 ・酸性、アルカリ性の洗剤や溶剤(シンナーなど)は変色等の原因となりますので絶対にお止め下さい。

☆ご注意
 ヒンジ等の金物の取付・調整を行う際は、電動ドライバーを使用しないで下さい。